

この工事は、1921年（大正10年）から始められ、1933年（昭和8年）に完成しました。

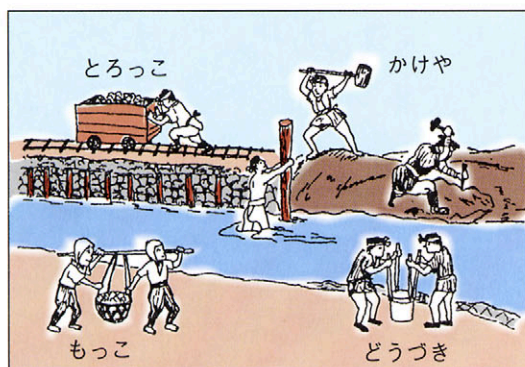
【土掘・袋原捷水路】川西地区の土掘地内に、阿賀川の流れが袋のかたちになっているところがありました。また、袋原地区の周りにも600mの袋の形の流れがありましたので、掘りわって水の流れを整え、川がはんらんしくくしました。

土掘捷水路1923年（大正12年）～1940年（昭和15年）完成

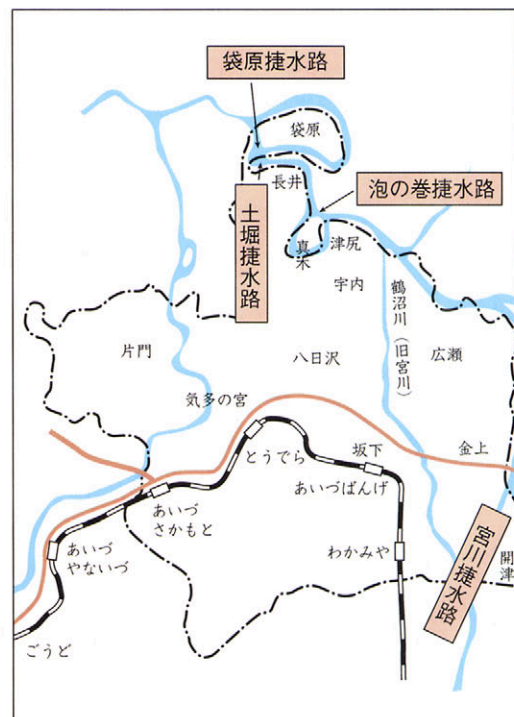
袋原捷水路1925年（大正14年）～1938年（昭和13年）完成

【宮川捷水路】1932年（昭和7年）に鶴沼川の下流の地域の水害をふせぐために、若宮地区の上新田から宮古橋の少し上流まで、直線におよそ3kmの川を開いて阿賀川に水をぬくことを計画し、次の年から工事が進められ、1955年（昭和30年）に完成しました。

袋原と真木のところが袋の形に
曲がりくねっていたんだね。



むかしの工事のようす



会津坂下町を流れる川